

17A 17クイーン セイコー

1) 仕様

機械落径	13.50mm
機械厚ミ	3.20mm
テンプレ振動数	21,600回/時
片振り修正装置付	

2) 特長

小さいスペースを十分活用した特殊輪列を採用することにより、大きな香箱とテンプレを組み込みましたので極小時計にもかかわらず大型時計をしのぐ安定性能を有しています。またヒゲゼンマイの巻方向を左方向にして携帯中に生ずる姿勢差を少なくしました。小型時計には設計上困難とされているブリッジ式のテンプレ受、アングル受を採用して脱進、調速機の精度を向上させました。このように小型で高精度の婦人用時計としてそのはたらきを維持するため、二つ開きケースの場合は防塵中枠を採用しています。

3) 分解・組立

分解は図の番号①→④⑧の順序に分解してください。
組立は図の番号④⑧→①の順序に組立ててください。

4) 注油

図の色は油の種類と注油箇所及び注油量を示します。

種類

●(赤) メービスA

●(青) セイコーウォッチ油 S-4

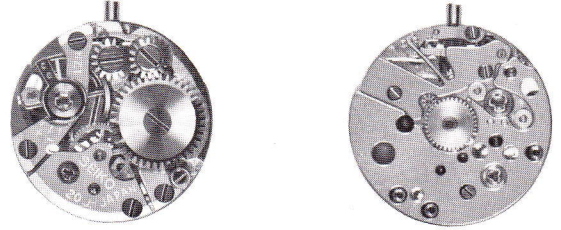
注油量

●●● 多めに

●● 標準量

● 極く少量

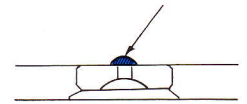
指示のない箇所には注油しないでください。



ムーブメント

セイコーウォッチ油 S-4 の注油方法

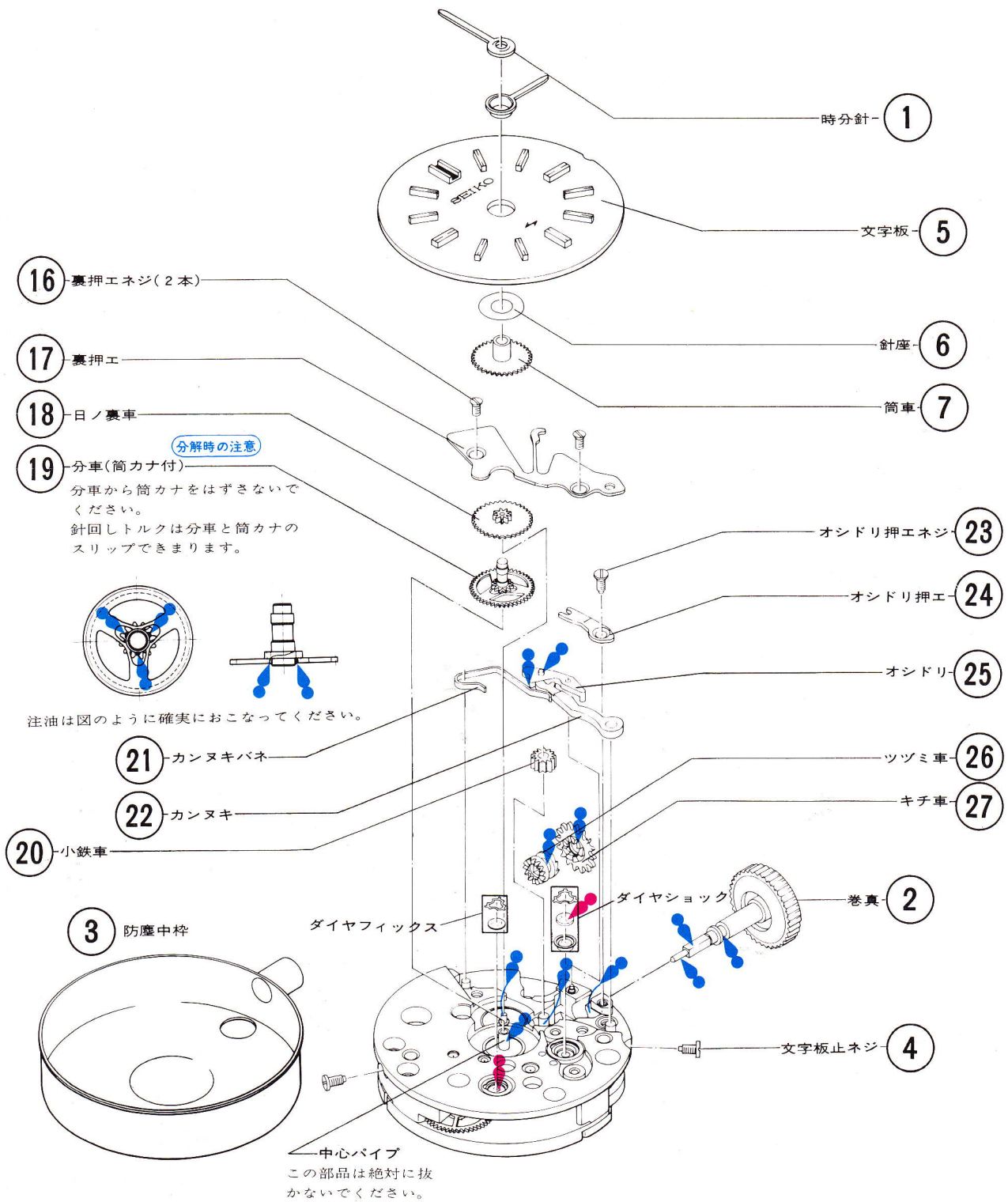
地板・受などの表輪列、その他のホヅ穴への注油はホヅを入れる側に S-4 油を図のように注油してください。



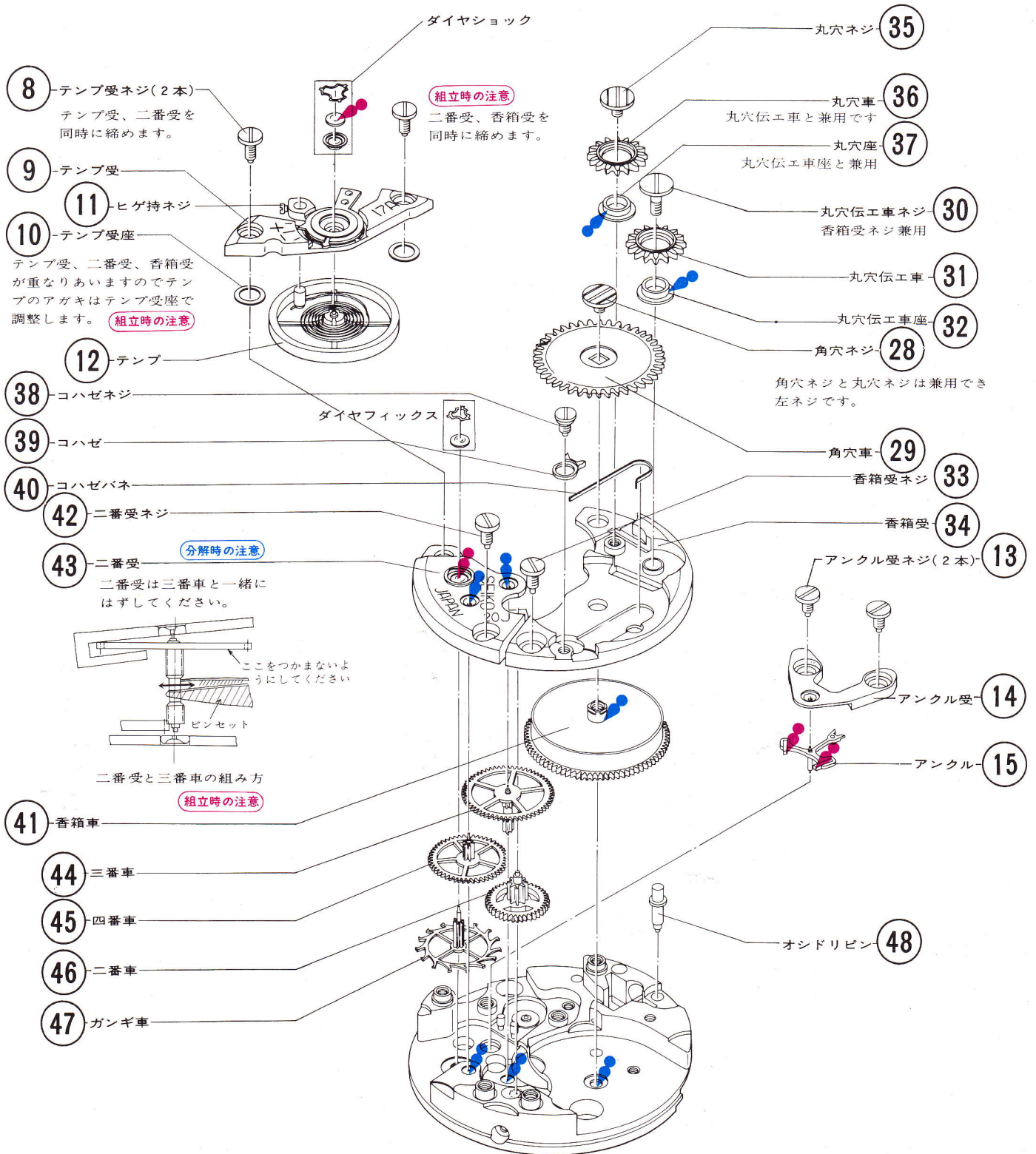
石入箇所

		香箱車	二番車	三番車	四番車	ガンギ車	アングル	テンプレ
20	上	受石				○		○
		穴石	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	下	穴石	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		受石					○	
	その他						▷▷	▷
17	上	受石						○
		穴石	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	下	穴石	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		受石						
	その他						▷▷	▷

17A 切換機構



17A 輪列 脱進 调速機構



5) 構造

5-1 特殊輪列

17クイーンセイコーは新しい特殊輪列の採用により、非常に大きな香箱とテンプを使用しています。このため二番車はムーブメントの中心からはずれています。分針のつく筒カナは分車に取り付けられ、分車は地板裏面に立てられた中心パイプに組み込まれています。従って力の伝達径路は次のようになります。

香箱車→二番車→分車→筒車

表輪列の力の伝わり方は従来と同じです。

(図-1)

5-2 分車

筒カナは従来と異り分歯車の3本のアミダの弾性により分歯車に取り付けられ、針回しの際はその3カ所の弾性部がスリップして筒カナが回ります。

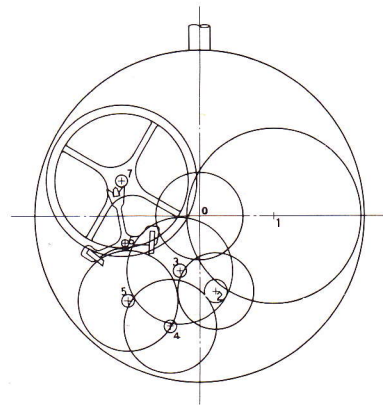
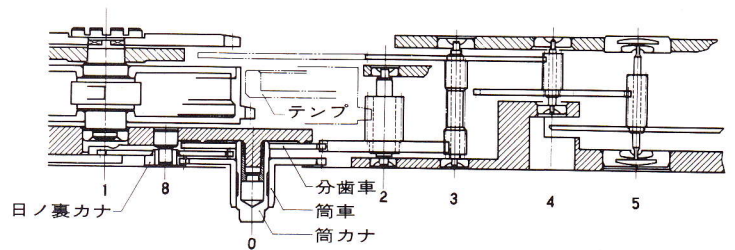
このため針回しトルクは非常に安定しトルク調整の必要はありません。

(図-2)

5-3 巻真抜機構

従来の継手巻真に代る機構です。

図のようにオシドリ尾部Aを押すとC点が支点となり、B部が上り巻真の脱着ができます。また従来のように裏フタ側からオシドリピンを押しても巻真を抜くことができます。(図-3)



- 1. 香箱車
- 2. 二番車
- 3. 三番車
- 4. 四番車
- 5. ガンギ車
- 6. アンクル
- 7. テンブ
- 8. 日ノ裏車
- 0. 分車

図-1

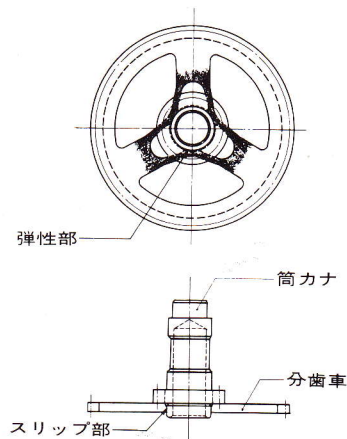


図-2

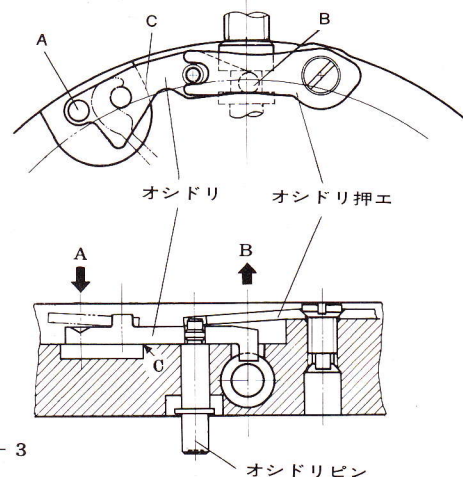


図-3